

【リムパーザ内服に関して】

1回300mg 1日2回(朝・夕食後)に内服。ただしDay1のみ朝内服できない際は昼食後に変更する。
規格は150mgのものを使用。100mgは減量の時のみにしか適応がない!

腎機能障害における調節

Ccr:31～50mL/minでは1回200mg 1日2回(朝・夕食後)に内服。

Ccr:30mL/min以下は使用経験なし。

肝機能障害における調節

肝代謝の抗がん剤であるためChild-Pugh分類Cでは使用経験なし。

併用薬における調節

中等度のCYP3A4阻害剤を併用する患者では1回150mg 1日2回(朝・夕食後)に内服。

(シプロフロキサシン、ジルチアゼム、エリスロマイシン、フルコナゾール、ベラパミル、アプレピタント、シクロスポリン、トフィソパムなど)

強いCYP3A4阻害剤を併用する患者では1回100mg 1日2回(朝・夕食後)に内服。

(イトラコナゾール、リトナビル、ボリコナゾールなど)

*グレープフルーツジュースは飲まない。また抗HIV薬を内服している患者は要相談。

制吐剤セット処方⑤

Day1～5 ナゼアOD(0.1mg) 1錠(分1朝 リムパーザ内服1時間前)

Day1～14 プリンペラン(5mg) 3錠(分3 毎食前)

*プリンペランは徐々に回数を減らし、頓服対応にする。

吐き気が強い場合にはセット⑤に追加。ステロイドの使用はできれば避ける。

Day1～7 デカロドン(4mg) 2錠(分1 朝食後)

Day1～14 ワイパックス(0.5mg) 3錠(分3 毎食前)

*徐々に回数を減らし、頓服対応にする。

参考文献: PAOLA-1試験

リムパーザ適正使用ガイド、インタビューフォーム

医薬品開発と適正な情報共有のための薬物相互作用ガイドライン(最終案) 平成26年7月8日